

## 臼杵の食文化推進に取り組む皆さん

～令和7年1月24日(金)訪問～ 【臼杵市】



臼杵市では、400年以上続く発酵・醸造産業に加え、質素儉約の郷土料理の継承、有機農業の実践、水源涵養の森づくりなど、食に関する独特な文化が根付いています。令和3年に「ユネスコ創造都市ネットワーク」へ食文化分野での加盟を目指して申請を行い、11月には山形県鶴岡市に続く国内2例目として認定されました。臼杵食文化創造都市推進協議会は、商工、食品、農業、教育、観光の各分野における官民22団体で構成され、食文化創造都市として持続可能なまちづくりを進めるための基本計画策定や、臼杵市の食文化やその魅力を発信する活動を行っています。

懇談では、協議会設立までの経緯や活動内容等についてお聞きしました。食文化都市同士の交流事業として中国のマカオで臼杵の郷土料理を提供した際には、質素儉約の文化を体現した「黄飯・かやく」が多くのシェフから絶賛され、郷土料理の持つ魅力について再発見できたとお話をお聞きしました。また、有機野菜の学校給食への提供や本膳料理の伝承、子ども達の食文化活動への参画推進などについても意見を交しました。

皆さんがそれぞれの立場で、世界に誇る食文化の魅力を発信されていることに感謝を申し上げ、県も市と連携して引き続き支援していきたいとお伝えしました。



## 関連分野における県の施策(令和7年度)

### ☆事業名:【新】地域未来創造総合補助金

事業概要:人口減少が進む中、魅力ある地域を未来へ継承するため、地域住民等が行う魅力ある地域づくりや特色ある取組を支援

予算額:5億円

### ☆事業名:【特】おおいた地域づくり活動支援事業

事業概要:特色ある地域活性化の取組の担い手確保・持続的発展を図るため、市町村から推薦のあった地域づくりに活躍しているひとや団体を登録し、活動紹介や参加者募集を行う特設サイトを開設

予算額:950万円

※【新】は令和7年度からの新規事業

【特】は本県の課題を解決し、新しいおおいたを創りあげる「新しいおおいた共創枠」

### 【ユネスコ創造都市ネットワーク】

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)が、経済的、社会的、文化的、環境的側面において、創造性を持続可能な開発の戦略的要素として認識している都市間の協力を強化することを狙いとして、平成16年に発足させた枠組みです。

「食文化」分野において、日本の都市では、臼杵市のほか、神戸市、名古屋市、金沢市、札幌市、鶴岡市(山形県)など計11都市が加盟認定されています(令和3年11月現在)。